

競技規則 現行日本バドミントン協会競技規則を準用します

大会規定 部分け・組み合わせ・ポイント  
小学生の部とレク大会は協会内で会議にて、中学生の部は中体連にて決定いたします

一般・高校の部は以下の通り行います

各種目とも予選リーグ・決勝トーナメント方式で行いますが、予選が3ブロック時は決勝リーグとなります

- 部分け ① 最低人数は4人(組・チーム)で成立とする  
② 部で同団体しか参加していない場合(何人でも)でも他の部と統合せず実施する

- 組み合わせ ① シード順はブロック数分(最大第8シードまで)決定 優先順位  
(1)前年大会の3位までの入賞者 (2)直近の同一種目大会の3位までの入賞者  
(3)各団体ランキング順を踏まえた代表者方の推薦の順に、配置  
② 同団体の参加者が早い段階で対戦しないように配置する(参加数が多い場合は除く)  
③ なるべくランキングの高い・低い参加者が偏らないよう配置する  
決勝トーナメントの試合数半端は上位シード試合数少なく、下位シードが1回多くなるように作成  
参加者の総試合数の差に配慮する、各ブロック人数の多いブロックはA・B・Cの上から順に配置

ポイント 代表者会議で決定しますが、基本は以下とします

- ① 個人戦  
予選リーグ・準決勝までは15ポイント3ゲーム延長21ポイント打ち切り、決勝は21ポイント3ゲーム延長あり  
オープン大会は予選リーグ21ポイント1ゲーム延長あり、決勝トーナメントから全て21ポイント3ゲーム延長あり  
② 団体戦  
市民選は予選リーグから全て21ポイント3ゲーム延長あり  
会長杯は予選リーグは21点1ゲーム延長なし、決勝リーグ・トーナメント15ポイント3ゲーム延長なし

参加数別試合方式(コート数・時間等、会場都合での変更は事前協議)

参加数5人まではリーグのみ

参加数	人・組・チーム	ブロック数					総試合数
4	4 ×	1					6
5	5 ×	1					10
予選リーグ(優先順位ブロック内人数 4人・5人・3人)			決勝方式1位通過及び3決				
	人・組・チーム	ブロック数	人・組・チーム	ブロック数	リーグ・トーナメント	人・組・チーム	総試合数
6	3 ×	2			決勝・3決	2	8
7	4 ×	1	3 ×	1	決勝・3決	2	11
8	4 ×	2			決勝	2	13
9	5 ×	1	4 ×	1	決勝リーグ	2	17
10	5 ×	2			決勝	2	21
11	4 ×	2	3 ×	1	決勝リーグ	3	18
12	4 ×	3			決勝リーグ	3	21
13	5 ×	1	4 ×	2	決勝リーグ	3	25
14	5 ×	2	4 ×	1	決勝リーグ	3	29
15	5 ×	3			決勝リーグ	3	33
16	4 ×	4			決勝トーナメント	4	27
17	5 ×	1	4 ×	3	決勝トーナメント	4	31
18	5 ×	2	4 ×	2	決勝トーナメント	4	35
19	5 ×	3	4 ×	1	決勝トーナメント	4	39
20	4 ×	5			決勝トーナメント	5	34
21	5 ×	1	4 ×	4	決勝トーナメント	5	38
22	5 ×	2	4 ×	3	決勝トーナメント	5	42
23	5 ×	3	4 ×	2	決勝トーナメント	5	46
24	4 ×	6			決勝トーナメント	6	41
25	5 ×	1	4 ×	5	決勝トーナメント	6	45
26	5 ×	2	4 ×	4	決勝トーナメント	6	49
27	5 ×	3	4 ×	3	決勝トーナメント	6	53
28	4 ×	7			決勝トーナメント	7	48
29	5 ×	1	4 ×	6	決勝トーナメント	7	52
30	5 ×	2	4 ×	5	決勝トーナメント	7	56
31	5 ×	3	4 ×	4	決勝トーナメント	7	60
32	4 ×	8			決勝トーナメント	8	55
33	5 ×	1	4 ×	7	決勝トーナメント	8	59
34	5 ×	2	4 ×	6	決勝トーナメント	8	63
35	5 ×	3	4 ×	5	決勝トーナメント	8	67
36	4 ×	9			決勝トーナメント	9	62
37	5 ×	1	4 ×	8	決勝トーナメント	9	66
38	5 ×	2	4 ×	7	決勝トーナメント	9	70
39	5 ×	3	4 ×	6	決勝トーナメント	9	74
40	4 ×	10			決勝トーナメント	10	69

40人(組・チーム)以上のときは、各ブロックなるべく4人(組・チーム)最大5人(組・チーム)までで調整、1位が決勝Tへ